

会派の意見

3月定例会を振り返って

市民クラブ

コロナ禍で市税収入大幅減
財政運営に厳しさ増す

令和3年度当初予算の歳入について、市長は「コロナ禍で市税収入の大幅減が見込まれ、財政調整基金などを取り崩し、国の交付金等の活用により財源を確保した」としました。しかし、一般家庭の貯金に当たる基金は底を尽き、財政の硬直化が顕著になりました。今年度は急激な景気回復による税収増は期待できないことから、市民生活に支障が出ないよう、慎重かつ効果的な財政運営が求められます。

また、都市計画マスタープランの事後決裁や職員による決裁文書偽造など、公私にわたる不祥事が後を絶たない状態ですが、職員が

孤立しないで各々の能力を発揮できるような職場となるよう、事務執行の在り方についても、チェックしていかなくてはなりません。

日本共産党

介護・国保の値上げ案に反対！
選択的夫婦別姓意見書採択を歓迎

本年4月から65歳以上の人の介護保険料を値上げする条例改正と国保料の賦課限度額を98万円に引き上げる条例改正は、コロナ禍の市民生活をさらに追い詰めるものであり、容認できません。値上げを回避する修正案を提出しましたが、賛成少数でした。

予算決算常任委員会では、市民活動への新たな補助金について、制度設計が不十分であることから予算を削除する修正案を提出。他党派からも賛同を得ましたが、過半数にはならず否決されました。市民からの請願（選択的夫婦別姓の導入を求める意見書）が採択されたことを心から歓迎します。

自由民主党・中道の会

代表質問に竹村邦夫会派代表、個人質問には清水おさむ議員、横山公大議員が登壇いたしました。

財政、新型コロナ対策、経済対策等を中心に、それぞれの視点で

言及し答弁を引き出してまいります。詳しくは各人の欄をご覧ください。

本市職員の不祥事が相次いでおり、当会派では「適正な業務執行及び綱紀粛正を求める申し入れ」を市長及び両副市長に直接手渡し、懲戒処分を含め市民が納得し得る対策を講じ、経過や結果は所管委員会に適時適切な報告、また再発のないよう強く要請しております。また本定例会において議長選挙が執り行われ、当会派の和田勝美議員が第115代議長に就任しましたことをご報告いたします。

公明党

令和3年度予算執行に望む

東日本大震災より10年を迎えた令和3年度予算編成は、コロナ禍により市税収入が大きく減収する中、「高知市型共生社会」を支えるために市民税の1%を還元する予算や、新型コロナウイルス対策、南海トラフ地震対策など大きな3本柱の下で構成された予算でした。

公明党では、予算執行について市民サービスの低下とならないよう各事業について厳しい指摘を行い、新型コロナワクチン接種についても、市民の方々の不安を払拭する相談体制の充実や、事務執行体制整備、ワクチン接種の安全な

実施を求めました。

新こうち未来

新図書館西敷地の活用と国民宿舎「桂浜荘」の在り方を検討するべき

オーテピア西敷地地活用に関する公募プロポーザル等がコロナの影響で大幅に遅れている。一方、桂浜荘は、観光客が極端に減少したことで、存続の危機。両者ともに、立ち止まって、市民と共に在り方を検討するべき。（新こうち未来は、広場と休館を求める。）

山嶽会

多様な声を市政に反映

高橋裕忠議員が委員会での質疑を通じ、当初予算や行政の運営について質問・提案をさせていたいただきました。今後とも市民の皆さまの多様な声に耳を傾け、市政に反映させてまいります。

清和クラブ

水災害に備え防災対策の徹底を

海治甲太郎議員が鏡ダムの緊急放流など河川の洪水氾濫に備え関係機関の連携と防災対策の徹底を求めた。災害対応空白地帯をつくらないため、建設業者を守る工事発注・入札契約方式を求めた。